

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	09 02 08	中期総合計画主要施策番号	1-08,2-07,5-06	担当課	部・課	林務部信州の木振興課	
事業名	特用林産地振興総合対策事業				内 線	3235	
					E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S48 ~	根拠法令等	特用林産地振興総合対策事業補助金交付要綱、長野県特用林産振興資金貸付要綱、きのこ生産安定資金造成事業実施要綱				
実施方法	長野県特用林産振興会へ補助金を交付し実施、長野県森林組合連合会に貸し付け実施、財団法人長野県野菜生産安定基金協会へ補助金を交付し実施、長野県林業改良普及協会へ委託し実施					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	特用林産物の生産振興を行い、山村地域の活性化を図る。
	対 象	特用林産物生産者ほか
	目指すべき姿	山村における貴重な収入源である特用林産物の生産振興を主体として、生産者の収入確保と地域の活性化を目指す。
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物の栽培研修会等への補助 (補助率:【国】1/4,【県】1/4) ・特用林産物生産者へ生産に必要な資材購入に要する資金を低利で貸し付ける ・なめこの市場販売価格が低迷した場合に生産者に補給金を交付するための資金を補助 (補助率:定額)

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・貸付金:6,500千円 ・生産者に補給金を交付する資金を補助:2,580千円 ・補助金(長野県特用林産振興会):618千円 ・栄村きのこ経営災害:725千円
	最終予算額 (A)		千円	10,843	10,423	12,756	
	決 算 額 (B)		千円	10,843	10,423		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	1,672	1,529	1,308	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.30	0.20	0.20	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	13,338	12,075	14,408	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	研修会の開催(活)	回	7	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物20品目の栽培指標を作成した。 (関係者に対し研修会及び会議等を開催する事業のため、単位コストを算出する必要がないため)
	品評会の開催(活)	回	2	2	2	
	生産者への融資額(成)	千円	7,500	6,500	5,000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)>					

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価		評価区分
	<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物の栽培研修会を6回開催し、400人程度の参加者に対して研修内容の理解を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・特用林産物の栽培研修会を7回(117%)開催し、合計410人(103%)の参加者に対して、栽培技術等に関する研修会を実施することができた。 		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	生産者からの聞き取り調査結果で要望の高かった生産技術支援を強化するために、栽培指標を活用した現地研修会が必要。ニーズもあり、里山の活用できるフィールドはあるので、技術指導していく必要性、更に技術指導できる人材育成が求められる。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	<ul style="list-style-type: none"> ・H21年度の聞き取り調査結果から、農産物等直売所における特用林産物の出荷要望は高く、継続的な生産振興支援策の実施が求められている。また、個々の生産者は零細かつ高齢化が進んでいることから、きめ細かな支援が求められている。 ・「特用林産振興の手引き」に基き、個々の生産者及び新規生産者へ栽培指標を活用した効果的、効率的な支援に力点を置き、生産振興を図る。更に生産振興の手引きも最終年度となるため、現状の即した内容で再検討を行い、今後の生産振興の方針を作成する必要がある。
	特記事項	